

兵庫県景気基準日付の設定について

令和2年10月30日

兵庫県企画県民部ビジョン局統計課

1 兵庫県景気基準日付の設定について

兵庫県では、景気動向指数（兵庫DI）をもとに景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などのため、主要な経済指標の中心的な転換点である景気基準日付（景気の山・谷）を設定しています。

このたび、令和2年10月9日に開催しました兵庫県景気動向懇話会の検討結果に従い、兵庫県における第16循環の景気の山を令和元年5月に暫定設定しました。

兵庫県と全国の景気基準日付

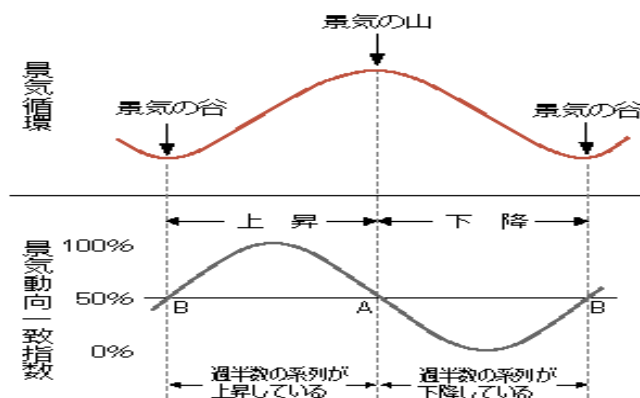
| 景気循環 | 兵庫県 | | | | | | 全国 | | | | | |
|-------|---------|---------|--------|--------|------|------|---------|----------|--------|--------|------|------|
| | 谷 | 山 | 谷 | 期間 | | | 谷 | 山 | 谷 | 期間 | | |
| | | | | 拡張 | 後退 | 全循環 | | | | 拡張 | 後退 | 全循環 |
| 第10循環 | S58年 5月 | 60年 4月 | 61年11月 | 23ヶ月 | 19ヶ月 | 42ヶ月 | S58年 2月 | 60年 6月 | 61年11月 | 28ヶ月 | 17ヶ月 | 45ヶ月 |
| 第11循環 | 61年11月 | H3年 3月 | 5年10月 | 52ヶ月 | 31ヶ月 | 83ヶ月 | 61年11月 | H3年 2月 | 5年10月 | 51ヶ月 | 32ヶ月 | 83ヶ月 |
| 第12循環 | 5年10月 | 9年 4月 | 11年 5月 | 42ヶ月 | 25ヶ月 | 67ヶ月 | 5年10月 | 9年 5月 | 11年 1月 | 43ヶ月 | 20ヶ月 | 63ヶ月 |
| 第13循環 | 11年 5月 | 12年 7月 | 13年12月 | 14ヶ月 | 17ヶ月 | 31ヶ月 | 11年 1月 | 12年11月 | 14年 1月 | 22ヶ月 | 14ヶ月 | 36ヶ月 |
| 第14循環 | 13年12月 | 19年 7月 | 21年 3月 | 67ヶ月 | 20ヶ月 | 87ヶ月 | 14年 1月 | 20年 2月 | 21年 3月 | 73ヶ月 | 13ヶ月 | 86ヶ月 |
| 第15循環 | 21年 3月 | 23年 2月 | 25年 2月 | 23ヶ月 | 24ヶ月 | 47ヶ月 | 21年 3月 | 24年 3月 | 24年11月 | 36ヶ月 | 8ヶ月 | 44ヶ月 |
| 第16循環 | 25年 2月 | (R1年5月) | | (75ヶ月) | | | 24年11月 | (30年10月) | | (71ヶ月) | | |

()は暫定日付

2 景気の山・谷の設定の方法と基本的な考え方

景気動向指数／一致指数の各採用系列から、月々の不規則な変動をならし、平滑化したヒストリカルDI（HDI）を作成します。その数値が50%を下回る（過半の系列が下降となる）直前の月を景気の山の候補とし、その数値が50%を上回る（過半の系列が上昇となる）直前の月を景気の谷の候補とします。

図 景気の転換点



これらの候補について、拡大または縮小の動きが多く、経済部門に波及・浸透しているかを確認します。また、景気総合指数（兵庫C I）により、経済活動の拡大もしくは縮小の程度の量的な変化やその期間についても確認します。さらに、他の景気指標（四半期別兵庫県内GDP速報、日銀短観（兵庫県）や兵庫県鉱工業指数など）の動きと大きな乖離がないか、念のため確認します。

これらのことについて、学識経験者や専門家からなる兵庫県景気動向懇話会で検討し、景気基準日付を決定します。

しかし、景気動向指数において採用指標の入れ替えや季節調整替え等が行われた場合や、各個別指標に改訂があった場合、ヒストリカルD I値は変化する可能性があります。

ヒストリカルD I値が安定的になるには、さらに時間を要するため、ひとまず景気基準日付を暫定的に設定し、ある程度の時間を置いて確定させます。